



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services

MSW ニュース 3月号(No.117)

発行：沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部
編集：大城将平（沖縄リハビリテーションセンター病院）
事務局：沖縄県総合福祉センター 西棟 2階 小規模団体室
〒903-8603 那覇市首里石嶺 4丁目 373-1
TEL；準備中 FAX；098-893-1221
Eメール；jim.msw.oaswhs@gmail.com

今年度より郵送は終了しています

目次

- ・入退院支援連携デザイン事業報告……………
2p
- ・各部会からのお知らせ……………
3p
- ・「ゆたしく うにげ～さびら」……………4p～
5p
- ・トピックス……………
5p
- ・はいさいワーク……………6p～
7p
- ・理事会議事録……………7p～
10p

**令和3(2021)年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業
多職種研修 報告書**

開催日時 : 令和4(2022)年02月16日(水) 19:00~21:00

テーマ : 「コロナ禍でつながる病院・診療所と地域との入退院支援のあり方」

目的 : 医療と介護の連携に係る入退院支援に関わる専門職の資質向上をめざし、「本人の意思を尊重した入退院支援と療養生活の実現～新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する新たな課題への対応～」について学ぶ。

対象 : 医療ソーシャルワーカー及び退院調整看護師、地域包括支援センター職員、介護支援専門員等、地区医師会コーディネーター、市町村職員、その他関係職種等

プログラム :

19:00~19:10 開会挨拶(沖縄県高齢者福祉介護課)
講師紹介(沖縄県医療ソーシャルワーカー協会会長 新垣哲治)

19:10~20:30 講演「コロナ禍でつながる病院・診療所と地域との入退院支援のあり方
～コロナ禍における診療所で働くソーシャルワーカーの取り組みの視点から～」
講師: 榊原 次郎(さかきばら じろう) 氏
(医療法人樟立会たちかわ脳神経外科クリニック 医療ソーシャルワーカー)

20:30~20:50 質疑応答・指定発言・意見交換
司会 : 沖縄国際大学 樋口 美智子
発言者 : ちばなクリニック 医療ソーシャルワーカー 秦 克之
沖縄協同病院 医療ソーシャルワーカー 長 原野

20:50~21:00 閉会挨拶(沖縄県医療ソーシャルワーカー協会副会長 當銘由香)

主催 : 沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課
一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

開催方法 : オンライン研修

参加者数 : 91名

[アンケートなど報告書全文は協会ホームページをご覧ください](#)

各部会からのお知らせ

【 研修部 】

■自主勉強会 めだかの学校（対象者：おおむね実務経験3年未満）

次回開催日	調整中
次回開催内容	仮)事例検討会
問合せ先	大浜第二病院/謝敷 ハートライフ病院/佐平 那覇市立病院/永井

■自主勉強会 めだかのホームルーム（対象者：おおむね実務経験4年以上）

次回開催日	調整中
次回開催内容	事例検討
問合せ先	沖縄赤十字病院 兼濱 098-853-3134(代表)

✿研修部ミーティングを定期開催しています。次回4月12日(火)18:30~@ZOOM

研修の企画・運営に関心あるかたは研修部までご連絡ください。

九州医療ソーシャルワーカー協会教育研修部公式 BLOG

「医療ソーシャルワークサプリー from 九州医療ソーシャルワーカー協議会」更新中！

こちらのQRコードからご覧になることができます



2022年2月22日

研修部 大久保

【 広報部 】

新企画検討中 アイデアも随時募集中!!

巻末の「**協会公式 LINE 加入のご案内**」をご覧ください。

【 社会活動部 】

特にありません

医療法人琉心会 勝山病院 地域連携室 山城つきえ



1. 当院について

医療法人琉心会 勝山病院は、平成 3 年に名護市屋部に慢性期医療病院として開設されました。平成 18 年に北部で初めて回復期リハビリテーション病棟 2 病棟を開始し、現在に至っています。

法人関連事業として、併設老健「あけみおの里」(100 床・通所リハビリ・訪問リハビリ)、在宅サービス事業「居宅介護支援事業所」「訪問介護事業所」「訪問看護ステーション」「短時間通所リハビリ」、名護市大東に介護付き有料老人ホーム「高齢者ハウスリゆうしん」(48 床)令和 2 年 4 月には名護市より「屋部地区地域型包括支援センターリゆうしん」が委託されております。

2. 地域連携室について

直通電話 0980-43-0226 FAX 0980-53-7735

回復期リハビリテーション病棟(40 床、42 床 2 病棟、MSW5 名

医療療養病棟(48 床、24 床)2 病棟、MSW1 名

入退院支援看護師 1 名 入院支援・調整前方連携、MSW2 名

当院の地域連携室、退院支援部門は地域部に配置されており、地域の関係機関と連携を密に図り、シームレスな支援に取り組んでいます。

入院支援は、急性期病院やクリニック、ケアマネージャー、北部の地域包括支援センターなど多職種からの入院、通院相談に対応し院内の調整を行っています。

退院支援では、患者さま本人の主体性を大切に心がけ、退院後の生活支援に繋がるよう務めております。

ご家族の面会が厳しい状況が続いており、これまでのMSW業務に加え、窓越し面会やリモートカンファレンス準備など、状況に応じた時間調整を行いながら、地域連携室一丸となって奮闘中です。

“利用者の尊厳を守り「安心・信頼・満足」のある医療と福祉を提供し、地域の皆様と共に歩み、豊かな社会創造に務める”とある法人の理念を念頭に病院全体でチームワークを大事にしていきたいです。

トピックス

伝えにくい思いを代弁

沖縄タイムス 暮らし相談(医療) 2022年2月21日掲載済
那覇市立病院 松田 隆志

入院中の患者さん家族との面接時、このような相談があった。「父を引き取りたいと思っているが、なかなか言い出せない。」聞けばご家族は県外在住であり、本人の体の事を思い引き取りたいとのことだった。しかし、それと同時に高齢である本人を住み慣れた沖縄から引き離す選択が正しいのかという葛藤も抱えていた。さらにコロナウイルスに伴う病院の面会制限の影響で、本人と話し合う機会がない事も、思いを伝えきれない要因の1つとなっていた。医療ソーシャルワーカー(以下MSW)の倫理綱領には、「利用者の自己決定の尊重」という項目がある。これは単に本人が決定した内容を実現するというだけではなく、様々な選択肢がある中、本人が適切に選択出来るよう側面的に支援を行うことである。この場面での支援として、まずはMSWからご家族の思いを代弁という形で、本人へ伝えることとした。実際本人は、退院したら住み慣れた自宅で生活したいという思いを持っておられ、その背景には長年生活した自宅を守りたいという自負があった。MSWとして本人の思いを尊重しつつ、ご家族の代弁を行った。後日、感染対策に留意しつつ、本人とご家族が相談出来る場の設定を行った。一度MSWより代弁を行ったことで本人・ご家族は、気持ちにゆとりを持って相談している様子が見受けられた。結果、県外にて同居するという選択がなされた。退院当日、本人・ご家族より「あなたに相談してよかった、ありがとうございました。」とお礼の言葉をいただいた。家族が故に伝えることの出来ない思いもある。その思いを一旦MSWが代弁する事で、結果的に本人が主体的に自己決定出来る支援を行うことが出来た。病気をきっかけに生活環境が変化せざるを得ない時、ご家族も本人同様に葛藤を抱えていることは珍しくない。そんな時相談出来る身近な存在として、MSWという職種が一人でも多くの方に知っていただくきっかけとなれば幸いである。

はいさいワーク

①琉球大学病院

事業所名	国立大学法人琉球大学病院 医療福祉支援センター
応募資格	1. 社会福祉士免許取得者 ※取得見込み者応相談 2. Excel、Word、PowerPoint 等の一般的なパソコン操作ができること 3. 業務ローテーションに柔軟に対応し、協力して業務遂行できること 4. 知識や技術取得に向け、意欲的に研修参加・学会発表等に取り組むこと 5. 病院勤務未経験者も可
募集職種	社会福祉士(非常勤フルタイム)
勤務形態	平日 8:30～17:15(週 38.75 時間勤務) 休日:土曜日および日曜日、国民の祝日、 その他(12月29日～1月3日) ※休憩時間 60分あり ※所定労働時間外勤務および休日勤務を命じる場合があります。 (時間外勤務 月 9 時間程度)
雇用期間	令和 4 年 4 月 1 日～ ※令和 4 年 3 月 1 日から採用可。面談時調整。
連絡先	〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町上原207番地 琉球大学上原キャンパス事務部 総務課 人事第二係 宛て TEL 098-895-1374(内線 1009)

②沖縄医療生活協同組合

事業所名	沖縄医療生活協同組合 ①沖縄協同病院 ②とよみ生協病院
応募資格	1. 社会福祉士 資格所持者 ※取得見込みも相談可 ①② 2. 精神保健福祉士 資格所持者 ① 3. Excel、Word、PowerPoint 等の一般的なパソコン操作ができること 4. 業務ローテーションに柔軟に対応し、協力して業務遂行できること 5. 知識や技術取得に向け、意欲的に研修参加・学会発表等に取り組むこと

募集職種	①精神保健福祉士、社会福祉士(常勤) ②社会福祉士(常勤)
勤務形態	平日:8:30~17:00(週40時間勤務) 休日:4週8休、日曜、国民の祝日、 ウークイ、その他(12/29~1/3) ※休憩60分あり ※所定労働時間外勤務及び休日勤務を命じる可能性があります。
雇用期間	令和4年4月1日~
連絡先	〒901-0294 豊見城市字真玉橋593-1 とよみ生協病院8階 沖縄医療生活協同組合 本部人事教育部 TEL:098-856-3107 FAX:098-850-7990 Email:jinji_honbu@oki-iseikyo.jp

※詳しくは協会ホームページ「求人情報」をご覧ください

理事会議事録

2021年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2022年2月21日(月)18:30~20:30

場所: zoom 会議@沖縄県総合福祉センター

【出席者】新垣会長(書記)、秦副会長、當銘副会長、安慶名副会長、伊禮事務局長、樋口(司会)、石郷岡、大久保、長、(オブザーバー:宮城)

【委任者】小橋川、香村(連絡)、山城、高江洲、奥平、井上

<各部報告・協議事項>

【研修部】以下の報告を受けました。

□次年度の活動計画案について提案を受け意見交換を行いました。

1. 定例勉強会の開催について

- ・会員全体に対する研修機会および会員間交流の機会として開催。
- ・対象者は会員とし、経験年数による制限は設けない。めだかの学校であがった学びたいテーマや初任研で取り上げていた講義科目なども、定例勉強会のテーマとして検討しながら開催。

<検討事項>

- ①開催頻度 : 3か月毎(年4回)、5・8・11・2月
- ②テーマ: 診療報酬改定(5月)、技能的なテーマ、中堅者向け、事例検討等
- ③開催方法 : オンライン
- ④開催通知の方法とタイムスケジュール : 要検討
- ⑤非会員の参加と費用徴収について
会員は無料、非会員は有料(講師招聘の状況に応じて設定)
- ⑥その他 : 認定ポイント付与は積極的に活用を。

2. 初任研の開催について

- ・2021年よりコロナ禍で初任者への対応を優先してきたが、会員全体に対する研修機会とのバランスを鑑みた結果、初任研は隔年開催と2022年度は開催しない。次回は2023年度開催を予定。

3. 自主活動支援について

- ・OGSVと放課後は活動内容の見直し。SVの勉強会や予演会の機会として活用するか、メンバーに確認しながら対応。
- ・めだかの学校、ホームルームは次年度も年5回ほどの頻度で開催。事例検討を中心に行う。

4. 次年度の研修部業務分掌について提案をうけ意見交換を行いました。

・各活動の主担当者

定例勉強会(大久保・池間・又吉)/めだかの学校(玉那覇・謝敷・安慶名)

/めだかのホームルーム(兼濱・香村)/九州教育研修部(香村)

/ニュース(研修部のお知らせ)の提出、理事会等での活動報告、ZOOMホスト管理

5. 他団体からの共同企画等の依頼について意見交換を行いました。理事会で検討後、関連部にて調整を行います。

〔広報部〕 以下の報告を受けました。

□MSW ニュース 3月号(編集;沖縄リハビリテーション病院)

□協会公式 LINE 加入者数:124名(2/18現在)

□協会ホームページアクセス数 1月;1,328件(12月;1,435件)

□広報部会年度振り返りのMT3月中実施 日程調整中

□はいさいワーク応募要項案(ホームページ掲載用)作成中 今月中には事務局提出予定

□協会ホームページへの研修案内について

- ・九州の研修案内は協会ホームページにて案内。その他研修会案内については日本医療ソーシャルワーカー協会ホームページにて閲覧して頂く。

- ・原則、月末締め(最終週の平日)の依頼で翌月案内。

〔社会活動部〕 以下の報告を受けました。

□福祉の窓:2月26日(那覇市立病院)。3月26日(琉球大学病院)。

□タイムスクラム(那覇市立病院:松田)。

□SW学会(2月26日)実行委員 報告。

〔事務局〕 以下の報告を受けました。

□入退会報告

入会届: 0人

所属先変更: 0人

退会届: 0人

□会費請求について意見交換を行いました。

□令和4年度総会に向けて活動報告書及び活動計画書の確認時期について。

・3月理事会にて各部、今年度報告及び次年度計画(案)を提出。

・総会日程、第一案:5月18日(水)。第2案:5月25日(水) 18:30~

研修会(診療報酬改定)との組み合わせを検討。

・オンライン形式

<その他 報告協議事項>

□協会会員:「医療ソーシャルワーカーの専門職アイデンティティに関する一考察(沖縄国際大学大学院地域文化研究科学生)」調査の協力依頼をうけ承認しました。

□研修部:ZOOM 有料ライセンス契約について

・デザイン多職種研修に使用するため、500名規模可能なライセンスを1か月間(2022/2/15-3/14, 7370円税込)契約追加。

・毎月1ライセンス契約中(15日更新/2200円税込)は、3/15-4/14が年度最終になります。

・支払い方法について再検討を行います。

□理事会:沖縄県地域両立支援推進チーム第5回会議について報告を受けました。

・メールによる持ち回り会議。(1/17)

・議題:①チーム要綱の改正、②R4~R8年度の5か年計画、③当会議とチームメンバーの連携の在り方について、④関係機関の取り組み実施状況の共有について。回答を提出しました。

・次年度委員(当協会)の選出について意見交換を行いました。継続討議とします。

□はいさいワーク掲載の依頼を受け承認しました。

・沖縄協同病院 社会福祉士、精神保健福祉士1名ずつ募集(2022/4/1採用)

□沖縄県入退院支援連携デザイン事業の報告を受けました。

・多職種研修会:2022年02月16日(水)18:30~21:00、ZOOM

参加申し込み:109人、当日参加アカウント数:91件、アンケート回答数:70件

☆ 編集後記 ☆

ここ数年の社会変貌により、休日の過ごし方や嗜好が変化してきました。
友人との飲み歩きや遊びに出掛けることが出来ない代わりに、これまでになかった趣味との出会いやネット検索・購入方法(詐欺に引っかからないように…)のスキルアップに繋がっております。

私の今のワクワクはキャンプ&珈琲道具収集!

毎朝のドリップ珈琲によって通勤途中の車内が幸せにっ!

皆さんは新たな発見ありますか?

MSW 協会 公式 LINE 加入のご案内

協会名を検索して「友だち追加」で完了!



<https://www.msw-oaswhs.jp/>



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services